

第6学年国語科学習指導案

児童 2組 男子16名 女子11名 計27名
指導者 吉田チェミ

- 1 単元名 共に考えるために伝えよう（光村図書 創造 6年上）
教材名 みんなで生きる町

2 単元について

(1) 児童について

児童は、5年生の単元「意見整理しながら、目標に向かって話し合おう」教材『失敗』をめぐっての学習で、出された意見を分類・整理した上で解決方法を探る話し合いの方法を学んだ。その中で、話題に沿って話し合いを進めることの大切さや積極的に意見を出すことの重要性、相手の立場になって考えることの大切さを学んできた。また、6年生の単元「学級討論会をしよう」の学習では、ある話題に対して肯定・否定の立場に立って議論する話し合いの方法を経験してきた。賛否が分かれる話題について、それぞれの意見の長所・短所を分析的に考え、相手を説得する話し方を工夫したり、相手の論点を聞き取ったりして、結論を導こうとする話し合いの仕方を学んできている。

また、現在、国語の学習以外にも、朝の会でスピーチを設け学級の友達の前でテーマに沿ってスピーチを継続的に行っている。帰りの会では、次の日の連絡等の記入に聴写を取り入れている。

この単元の目標に関わる「話し合い」について事前の意識調査をしたところ結果は次の通りであった。

質問項目	はい	どちらかという	どちらかという	いいえ
		はい	いいえ	
①話の構成を考えて話そうとしているか。	44%	44%	12%	0%
②資料を適切に提示しながら説明することができるか。	40%	56%	4%	0%
③相手の主張する根拠を明らかにしながら聞こうとしているか。	44%	48%	8%	0%
④自分の立場や意図をはっきりさせて、話し合いが深まるように話し合おうとしているか。	48%	44%	8%	0%
⑤お互いの考えの違いを大切にしながら話し合おうとしているか	33%	56%	11%	0%

調査の結果から、「④自分の立場や意図をはっきりさせて話し合いが深まるように話し合おうとしている。」また「⑤お互いの考えの違いを大切にしながら話し合おうとしている。」ということ意識している児童が多い。だが、実際の話し合いの場面においては意欲の高まりに技能が追いついていない場合が多く見られる。また、お互いの考えの違いを大切にしながら話し合おうという意識の低い児童もいることが分かる。

これらのことから、話し合い意見交流して自分の考えを深めるためには、自分の考えをはっきりさせて話すと共に、お互いの考えの違いを大切にしながら話し合おうという意識の高まりと話し合うための技能面の向上が大切であると考えられる。

(2) 教材について～5 学習指導計画 (P ～ 参照)

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・ 調べたことや自分の考えを発表し合い、意見交換をして考えを深めることができる。

(2) 本時の展開

□はかかわり合いの場合

過程	学習活動	教師の働きかけ
つかむ 3分	1 前時の学習内容を想起する。 ようにする。 2 本時の学習課題を確かめる。 もとに、全体で話し合うことを確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 友達の意見を聞き、自分の考えを深めよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前時までの感想を紹介し、本時の学習に生かす ・ 本時は小グループに分かれて話し合ったことを
かかわり 合 う 37分	3 学習課題を解決する。 (1)小グループの話し合いの報告をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いの様子やグループでの提案について報告する。 (2)全体で意見交換をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いの考えやアイデアを出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学習形態は全体。意見交換を通して、自分の考えをより明確に持てるような効果的な話し合いをめざす。発表者（話し手）は自分の調べたことや経験を手がかりにしながら発表する。聞き手は、自分の考えの参考になることや共感できることなどをメモしながら話し合いに参加する。 </div> (3)小グループで話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 出してもらった意見を確認し、参考になる意見や取り入れたい意見について話し合う。 (4)全体の場で小グループでの話し合いの報告をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考になった意見などを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 効果的に話し合う場や時間の設定を工夫する。 ・ 司会者が効果的に話し合いを進めるために、個々が作成した資料を分類したものや、主張点を一覧表にしたものを参考にさせ指名させたい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 話し合いに参加するために、それぞれが自分の調べたことを手がかりに、自分の考えを活発に出し合えるような雰囲気を作るように配慮する。また、自分の考えの参考になることや共感できることなどは、話し合いメモに書き込ませ話し合いに参加するように助言する。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p>評価基準</p> <p>A：自分の考えの参考になりそうな意見をメモしたり、自分の考えを調べたことや経験をもとに活発に出し合ったりしながら話し合いに参加し、自分の考えを深めている。</p> <p>B：友達の発表を聞いたり意見交流したりする中で、自分の考えの参考になることや共感できることなどをメモしながら話し合いに参加し、自分の考えを深めている。</p> <p>(C児への手だて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参考になる意見をメモすることを助言する。参考になる意見を話し合いの中で紹介出来るように話形を示しておく。 </div>
み と め 合 う 5 分	4 本時の学習をまとめる。 (1)自己評価し、感想をまとめる。 (2)感想を発表する。 5 次時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 友達の発表の良かった点、参考になった意見などを活発に発表させる。 ・ 深まった考えを提案として分かりやすく文章にまとめる学習であることを知らせる。